

目 次

	頁
序章	1
1 章 大規模な自然災害が多発する時代を迎えて	3
1.1 地球温暖化による豪雨災害の多発	
1.2 南海トラフ地震に向けて頻発する地震災害	
1.3 建物倒壊が際立った阪神・淡路大震災	
1.4 大規模津波に襲われた東日本大震災	
1.5 未曾有の豪雨に見舞われた平成 30 年 7 月豪雨災害	
1.6 震度 7 の地震に立て続けに襲われた熊本地震	
1.7 交通の不便な半島を襲った能登半島地震と奥能登豪雨災害	
1.8 平成 30 年 7 月豪雨災害時の松山市の被災状況	
1.9 ハザードマップに見る想定される松山市の自然災害の概要	
2 章 防災教育の必要性和課題	22
2.1 災害伝承～多くの犠牲者～	
2.2 防災教育の発端は	
2.3 防災教育の課題について考える	
3 章 松山全世代型防災教育の展開	28
3.1 松山市の防災教育への取組概観	
3.1.1 防災士養成を核とした松山市の防災への取組	
3.1.2 全国に先駆けた公費負担による防災士養成の取組	
3.1.3 松山市と愛媛大学との連携による防災士養成講座の設置	
3.1.4 愛媛大学における大学生向けの防災講座の開講と防災士の取得	
3.1.5 自主防災会の組織化と防災活動への取組	
3.1.6 平成 30 年 7 月豪雨災害時の高浜地区自主防災連合会の活動	
3.1.7 防災協力事業所表示事業	
3.1.8 平成 30 年 7 月豪雨災害を受けての松山市役所における防災への取組	
3.1.9 松山防災リーダー育成センターの設置	
3.2 松山防災リーダー育成センターの全体的な取組	

3.3 ジュニア防災リーダークラブの取組

3.3.1 小学生から高校生までの継続的な取組が真のリーダーを育成する

3.3.2 ジュニア防災リーダークラブの募集

3.3.3 まるごと防災たんけん隊!!

3.3.3.1 まるごと防災たんけん隊!!とは

3.3.3.2 「たんけん・発見!防災への取組」(松山河川国道事務所)

3.3.3.3 「命のために 今 動く(まもるいのち ひろめるぼうさい)」
(日本赤十字社愛媛県支部)

3.3.3.4 「災害に備えて～家庭でできる身近な防災対策～」(DCM(株))

3.3.3.5 「気象の不思議たんけん!」(松山地方気象台)

3.3.4 防災・被災地見学会

3.3.5 風水害 24

3.3.6 防災デイキャンプ

3.3.7 防災まち歩き

3.3.8 ジュニア防災リーダー認定チャレンジ

3.3.9 とどけ!命のはがきプロジェクト

3.4 防災リーダークラブ

3.4.1 環境防災学の取得を通した防災士資格の取得制度

3.4.2 防災リーダークラブの取組概要

3.5 自主防災組織の活動

3.5.1 総合防災訓練

3.5.2 マイ・タイムライン講座

3.6 松山防災士フォローアッププログラム

3.6.1 松山防災士フォローアッププログラムの概要と目的

3.6.2 防災・気象情報の収集と活用

3.6.3 住宅耐震・家具固定

3.6.4 ペット防災

3.6.5 災害ボランティア

3.6.6 男女共同参画と防災

3.6.7 災害時の食と栄養

3.6.8	防災訓練・研修の企画と実践	
3.6.9	上級救命講習	
3.6.10	災害時のトイレ対策	
3.6.11	要配慮者支援	
3.6.12	防災まち歩き・防災マップ作り	
3.6.13	救出技術・初期消火・安全管理	
3.6.14	HUG(避難所運営ゲーム)	
3.6.15	リアル HUG(避難所運営ゲーム)	
3.7	教員防災士の活動	
3.7.1	各種教員防災研修、防災教育研修	
3.7.2	東日本大震災被災地視察研修	
3.8	防災教育サポート動画	
3.9	デジタル版マイ・タイムラインを活用した防災教育	
3.9.1	デジタル版マイ・タイムラインの概要	
3.9.2	普及への取組(中学生、自主防災組織)	
3.10	企業の BCP	
3.10.1	松山市の企業の BCP 策定への取組	
3.10.2	簡易版 BCP の作成と活用	
3.10.3	防災協力事業所の活動事例	
3.11	福祉施設の防災	
3.11.1	福祉関係の BCP	
3.11.2	要配慮者利用施設と連携した防災訓練	
3.12	外国人対象の防災教育	
3.13	乳幼児・保護者・妊産婦対象の防災教育	
3.14	松山全世代型防災教育の取組に対する各種表彰	
4 章	関係者からのメッセージ	88
4.1	松山市自主防災組織ネットワーク会議	
4.2	日本防災士会愛媛県支部	
終章		90